

大阪大学グローバル日本学教育研究拠点・国際日本文化研究センター主催
「国際日本研究」コンソーシアム共催
オンライン研究交流ワークショップ

デジタル・ヒューマニティーズが拓く日本研究の新展開

大阪大学グローバル日本学教育研究拠点では、若手研究者間の研究交流を促進することを意図して、オンラインの研究交流ワークショップを開催しています。今年度は、翌日に開催する国際シンポジウムと連動したかたちで、「デジタル・ヒューマニティーズが拓く日本研究の新展開」と題する下記のようなワークショップを企画いたしました。デジタル・ヒューマニティーズの手法による日本研究という領域でなされている最先端の取り組みの成果を共有するとともに、若手研究者間の研究交流の機会を提供し、当該領域の研究のさらなる活性化を図ることが目的です。

第1部では、統計学的モデリングや計量解析手法を駆使して日本民謡を対象にしたデジタル・ミュージコロジー研究に取り組んでおられる気鋭の学者、河瀬彰宏先生から、最先端の方法的試みと研究成果についてお話しいただくとともに、近年精力的にデジタル化資料の公開に取り組んでいる国際日本文化研究センターのフレデリック・クレインス先生から日文研におけるデジタル・アーカイブの構築とそれに基づく研究成果についてお話しいただき、質疑応答を行います。

第2部では、参加者の方々全員にフラッシュ・トーク形式でご自身の研究内容を簡潔にご紹介いただいたうえで、参加者相互の意見交換と講師陣からのフィードバックを通じて、学会でのパネル発表などの企画が生まれてくるような研究交流を促すことができると考えています。

現役の大学院生をはじめとする若手研究者の方々積極的に参加してくださることを期待しています。

日時：2022年12月16日(金) 13:00～17:00 JST

開催方法：オンライン

プログラム

司会：田畑智司（大阪大学教授）/ 宇野田尚哉（同前）

13:00～13:10 趣旨説明

第1部：講演と質疑応答

13:10～14:00 河瀬彰宏（同志社大学准教授）

「同志社大学人文情報学研究室におけるデジタル・ヒューマニティーズ研究」

14:00～14:50 フレデリック・クレインス（国際日本文化研究センター教授）

「外書データベースとデジタル・トランスフォーメーション」

14:50～15:00 休憩

第2部：研究交流

15:00～15:50 参加者による研究紹介

15:50～16:50 講師陣・参加者による意見交換・研究交流

16:50～17:00 ホイト・ロング教授による総括コメント

申込方法等

・本件担当のユリア・ブレニナ特任講師（burenina.hmt@osaka-u.ac.jp）宛に、11月10日(木)17時までに、お名前・ご所属・研究テーマ・研究概要（200字程度）をお知らせください。その後、ご自身の研究内容を紹介するパワーポイント・スライド1枚を事前にご提出いただきますので、お含みおきください。なお、申込者多数の場合は、参加者の多様性の確保などに配慮しつつ、主催者の側で選抜させていただきます場合がありますので、ご了解ください。ご参加いただけるかどうかは、11月14日(月)までにご連絡いたします。

・当日のZoom Meeting情報は、ご参加いただく方に後日ご連絡いたします。

講師紹介

ホイト・ロング先生（シカゴ大学教授、*The Values in Numbers: Reading Japanese Literature in a Global Information Age*, Columbia University Press, 2021 著者）

河瀬彰宏先生（同志社大学准教授） <https://www.cis.doshisha.ac.jp/staff/kawase/>

フレデリック・クレインス先生（国際日本文化研究センター教授） <https://www.nichibun.ac.jp/ja/research/staff/s067/>